

2022年1月2日 NO.57-1

《開会 午前10時30分》		—礼拝式順序—	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	S執事
前	奏		
礼拝への招き	詩編96編1節～2節		
挨拶			
※賛美	詩編歌121(1, 2)		
祈	禱		
罪の告白			
静	思		
赦しの宣言			
平和のしるし			
※賛美	368(1, 2)(讃美歌21)	—神の招き—	
照明の祈り			
聖書朗読	ローマの信徒への手紙15章30節～33節(新約296頁)		
説教	「執り成しの祈り」		
祈	禱	吉田謙牧師	
静	思	—神の言葉—	
※賛美	504(1, 2)(讃美歌21)		
信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問103(週報裏面)		
使徒信条			
聖餐式	配餐:K長老		
献金	<u>K姉妹</u> ・K兄弟・K姉妹		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)	—感謝の応答—	
※頌	栄 25(讃美歌21)		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5(讃美歌21)		
報告	礼拝当番 N執事・G姉妹	—派遣—	

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。
私たちの罪は、自分一人で負うには重すぎます。
あまりにも確かで、隠すことができません。
あまりにも複雑で、ときほぐすことができません。
あまりにも深く、はかることができません。
くちびるが震え、言葉にするのを恐れます。
私たちにふさわしいのは、永遠の火による裁きです。
変えることのできない過去の罪から解放してください。
変えることのできる未来の可能性を開いてください。
日々、キリストに似る者となるように、恵みを増し加えてください。
世の光であるイエス・キリストによって祈り願います
アーメン。

司式 しばらく目を閉じて、悔い改めと赦しの願いに心を集めましょう。
静思の時間をもちます。(40秒)

赦しの宣言

司式 神の恵みによって宣言します。
主イエス・キリストの十字架を信じるあなたがたは、
罪を犯すことがあっても新しい人です。
罪を犯すことがあっても神の子です。
神は砕かれた魂を何よりも喜んでくださいます。(詩編51:19)
主イエス・キリストは罪を犯した女に言われました。
「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。
これからは、もう罪を犯してはならない。」(ヨハネ8:11)

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあつて私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 (司会) 休会
 (お話) 休会
- ◇成人学級 10:00~10:20 休会
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2021/12/19		男性	女性	男児	女児	合計
集 会	礼拝	12	22	2	3	39
	祈祷会	1	1	0	0	2
	求道者会	—	—	—	—	—
	オリキッズ	—	—	—	—	—
統 計	礼拝の恵み	—	—	—	—	—
	成人科	6	8	—	—	14
	幼稚科	4	5	1(0)	2(0)	3(0)
	小学生	—	—	1(0)	0(0)	1(0)
	中高生	—	—	0(0)	0(0)	0(0)
献 金	礼拝	42,770				
	教会学校	2,000				

今週の集会

- ◇祈祷会 1月5日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 詩編の学び
- ◇相談日 1月5日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 1月6日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会と合流)

次週の集会 (1/9)

- ◇教会学校 (司会) F先生
 (ネット) (お話) Y先生
- ◇成人学級 (担当) 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼拝 (説教) T神学生「見失った羊のたとえ」
 (聖書) ルカによる福音書15章1節～10節
 (旧約聖書) 簡易礼拝のため省略
 (新約聖書) 簡易礼拝のため省略
 (讃美歌) 詩編歌121・475(21)・412(21)・26(21)
 (司式) 吉田謙牧師 (奏楽) S執事
 (献金) K兄弟・K姉妹・K姉妹
 (礼拝当番) N執事・G姉妹
- ◇教会学校教師会 礼拝後 ◇小会 午後1時30分～

お知らせ

- ◇明けましておめでとうございます。昨年与えられた数々の恵みを主に感謝しつつ、喜びと感謝をもって新しい年の歩みを始めましょう。
- ◇1月30日(日) 礼拝後に定期会員総会を開催します。昨年の活動報告と決算報告、及び今年の活動計画と予算の審議、任期満了の長老・執事の選挙などが予定されています。コロナ禍にあるため、報告はできるだけ短くすませ、短時間で終了するよう配慮します。会員の方は、配付される予定の年報をよく読んで、是非ご出席ください。会員総会は、現住陪餐会員の三分の一の出席がないと成立しません。ご協力よろしくお願ひします。なお長老・執事選挙はノミネート方式で行います。任期満了の長老・執事の他に推薦したい方がおられましたら小会メンバーまでお知らせ下さい。
- ◇2022年度年報の住所録を受付に置いています。ご確認ください。
- ◇礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558kHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。1月9日放送予定：宇野元先生(芦屋伝道所)「夕べがあり、朝がある」
- ◇掲示板
 - * 神戸改革派神学校より2022年度第二学期開校礼拝の案内が届いています。
 - 日時:2022年1月7日(金)午後1時30分～ 講演:家山華子先生「教会の理論と実践における聖書の役割」

1月の祈禱課題

- ①新しい年の歩みのために。 ②会員総会のために。 ③闘病中の方々を覚えて。
④愛する者を天に送り、悲しみの中にあるご遺族のために。
⑤結婚された兄弟姉妹のために。
⑥川瀬弓弦先生のハンガリー宣教のために。 ⑦但馬みくに伝道所の新会堂改修工事のために。
⑧滋賀摂理教会の牧師に就職された金原堅二先生のために。 ⑨関西地区伝道協議会のために。
⑩神学校のために。 ⑪求道者の方々を覚えて。 ⑫川島利子姉妹のために。
⑬新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑭年間教会標語「教会に生きる喜び」
⑮豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
⑯滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
⑰1月生まれの方のために。

今月の掃除当番 男子会

【本日の聖書日課のテーマ】「エルサレム訪問」

旧約聖書 ゼカリヤ書8章1節～8節：都の広場にて

新約聖書 ルカによる福音書2章41節～52節：父の家にいる

年に一度のエルサレム詣でに行ったナザレのある家族が、帰りの道中、12歳の息子がいないことに気付きました。両親が大慌てで同行の親戚や知人の中を捜し回りますが見つかりません。3日の後、エルサレムの神殿で学者と問答しているのを発見。少年の聡明さに驚く人々と、自分たちを困らせたことに腹を立てる親。ここまでは、普通に起こりえるような詣です。ところが、その後の少年の発言によって話はまったく異なる次元に移されることとなります。少年時代の逸話という外見を取ってはいますが、中味は「あなたはイエスをどこに捜しているのか」という神学的な問いかけになっています。キーワードは「どうしてわたしを捜したのですか」の「捜す」と「父の家」でしょう。

主イエスが十字架にかかって死なれてから3日目に、墓場で泣く女たちが聞いた言葉を思い起こします。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ」（ルカ24:5～6）

神がこの世界に与えてくださった御子は、過去の遺物となったものではありません。本の中にひそんでいる存在ではない。イエス・キリストは今生きておられます。今生きて、語りかけておられる。捜す場所を間違えてはならないのです。「あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。……それなのに、あなたたちは、命を得るためにわたしのところへ来ようとしなさい」（ヨハネ5:39、40）

人々は神殿に詣で、聖書を読みながら、それが生ける神とつながっていなかったのです。抽象概念にすぎない神と、律法遵守へと変換された信仰の行為。主イエスは自分が「父の家」、つまり自分の実家において何かおかしいのかと問い返すことによって、神の臨在と人間の現実が本当に結びついた真の信仰を回復してくださったのです。

今現在、エルサレムに神殿は存在しません。では、主イエスの実家はもはや地上にないということなのでしょうか。そうではありません。イエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行方人たちのことである」と言われます。神の言葉を聞いて行方人たちが集うところに神の家族があり、そこに主の実家があるのです。パウロは、「あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿」と言います。私という小さくて貧しいところに神の子が来られて、ここに神の国（神の支配）を始めてくださった。ここもまた神殿である。神の言葉を聞いて従う神の家族。そこに生きる小さな一人一人が、驚くべきことに主イエスの実家とされるのです。

ウエストミンスター小教理問答

問103

第三の祈願において私たちは何を祈るのであるか。

答

第三の祈願である「みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ」では、神の恵みにより、天で天使たちがするように、すべての事においてみこころを知り、それに従い、服することができるように、また喜んでそうするものとしていただくように祈るのである。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、

全能の父なる神の右に座したまえり、

かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、

限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。